

## 第 55 回宮城県芸術祭 事業報告

宮城県における芸術文化の支柱となり、振興発展に寄与することを目的とし、55 回目の開催となる宮城県芸術祭を、公益社団法人宮城県芸術協会、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の 7 団体共催により開催した。

本年度の統一テーマは「結いⅡ」。9 月 21 日の開会式から 3 月 17 日の第 39 回音楽コンクール本選までの開催期間の各事業報告については次のとおり。

事業名	期日	会場	作品点数・出演者等	入場者等	前回実績
開会式	9/21	せんだいメディアテーク 5F	—	<b>83 名</b>	80
特別企画「結いⅡ」	9/30	せんだいメディアテーク 1F	—	<b>590 名</b>	650 名
工芸展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 5F	73 点	<b>2,101 名</b>	2,457 名
写真展・写真公募展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 5F	会員展 88 点・公募展(入選)99 点	<b>2,390 名</b>	2,994 名
絵画展(公募の部)	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 6F	103 点	<b>1,743 名</b>	2,198 名
彫刻展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 6F	会員 33 点	<b>1,743 名</b>	2,198 名
絵画展(会員展)	9/28～10/3	せんだいメディアテーク 5・6F	日本画 42 点・洋画 195 点・役員等 79 点	<b>8,065 名</b>	9,578 名
華道展	10/5～10/10	せんだいメディアテーク 5F	前期:会員 29 点・チャレンジ 6 点 後期:会員 29 点・チャレンジ 5 点	<b>2,395 名</b>	2,716 名
書道展	10/5～10/10	せんだいメディアテーク 5・6F	293 点	<b>3,972 名</b>	4,345 名
展示部門(※9 月 21 日～10 月 10 日)開催期間せんだいメディアテーク来場者数				<b>22,409 名</b>	26,486 名
文学散歩	10/3～10/4	福島県浜通り地区	—	<b>39 名</b>	31 名
受賞者によるガラコンサート	10/7	日立システムズホール仙台	受賞等出演 22 名、管弦楽団 29 名	<b>498 名</b>	364 名
茶会	10/14・21・28	輪王寺	—	<b>3,846 名</b>	3,719 名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	750 部発行	—	—
長唄演奏会	10/21	日立システムズホール仙台	出演会員 20 名	<b>128 名</b>	198 名
文芸祭	10/27	東京エレクトロンホール宮城	—	<b>146 名</b>	137 名
音楽会	11/9	日立システムズホール仙台	出演会員 30 名・外部出演 5 名	<b>507 名</b>	582 名
表彰式	11/21	ホテルメトロポリタン仙台	—	<b>262 名</b>	269 名
第 39 回音楽コンクール	予選:2/17	日立システムズホール仙台	ピアノ部門 予選出場:123 名 初級A:19 名、初級B:15 名 中級A:32 名、中級B:29 名 上級A:20 名、上級B:8 名	<b>595 名</b>	567 名
			ヴァイオリン部門予選出場:43 名 初級:21 名 中級:18 名 上級:4 名		
	本選:3/17		ピアノ部門本選出場:73 名 初級A:13 名、初級B:7 名 中級A:20 名、中級B:16 名 上級A:12 名、上級B:5 名	<b>601 名</b>	626 名
			ヴァイオリン部門本選出場:47 名 初級:16 名 中級:15 名 上級:3 名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:11 名 ツイゴイネルワイゼンコンクール:2 名		
<b>期間内全事業総来場者数</b>				<b>29,704 名</b>	33,709 名

※1 せんだいメディアテークの各作品展について

- a. 工芸展では特別企画「結いⅡ～過去・現代・未来を結ぶ～」の第2部「茶の世界 過去・現代・未来」において使用する茶道具作品を、イベント開催日に先行して展示会期内展示した。
- b. 写真展では統一テーマ「結い」企画展示として、①「渾身の一枚」[写真部初期の会員3名による「渾身の一枚」の作品展示]、②「マジ卍」(温故知新)[若手作家作品のモニター展示]、③「復興いま」[震災復興をテーマにした作品のモニター展示]、④「あえて残す」(平成と呼ばれた時代)[平成を記録した写真集の展示]を実施した。
- c. 写真展、彫刻展それぞれにおいて9月22日にギャラリートークを実施した。
- d. 華道展ではチャレンジ席を設けて会員以外の作品(前期6点・後期5点)を展示。また、会期内中に「いけばなデモンストレーション 2018～ライブで楽しむ『いけばな』～」を7流派が日替わりで担当し、実施した。
- e. 書道展では受賞者による揮毫会を10月7日(会場:6階ホワイエ・来場者151名)に実施した。

※2 写真セミナーについて

写真部では主に写真公募展の出品者等の写真愛好者を対象に、年間5回の写真セミナー(①7月13日・講師:佐々木 光一 会員・参加者13名、②8月10日・講師:加藤 友一 会員・参加者10名、③9月22日・講師:笹川 義信 会員・参加者18名、④10月12日・講師:吾妻 克美 会員・参加者13名、⑤11月16日・講師:落合 英俊 会員・参加者13名)を開催した。

※3 文芸作品の公募について

文芸祭において文芸作品の公募を実施し、小中学生を対象とするジュニアの部と、高校生以上の一般の部の2部門、詩・短歌・俳句・川柳・エッセー(※ジュニアは無し)の5分野で作品を募集した。各応募作品数と人数は次の表のとおり。

文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ( )=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
高校生・一般	15(15)	97(48)	150(65)	166(73)	13(13)	441(214)
ジュニア	38(38)	303(218)	121(82)	31(16)	—	493(354)

※4 宮城県芸術祭参加行事について

事業名	期日	会場	入場者数	前回実績
第49回洋舞公演	10/8	東京エレクトロンホール宮城	948名	850名
第62回仙台三曲協会定期演奏会	10/14	日立システムズホール仙台	319名	420名
歳末たすけ合い第56回各流舞踊大会	12/2	電力ホール	1,005名	—